

分科会開催報告書

報告日 令和5年6月30日（金）	報告者 長島和子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第172回浮雲俳句会
開催日時 令和5年6月25日（日） 午前10時～12時	開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ
参加人数 浮雲俳句会会員 男8名 女4名 合計12名 欠席者1名 見学者1名	

実施内容

第172回例会は兼題「人」を入れた1句、当季雑詠3句、合計4句。

最初に見学者の紹介。

句会は菅井三旦会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評。

月当番による合評後、意見、質問、添削等、活発な意見交換がなされた。

「てにをは」の妙味、「俳句の季語での夏」について確認。

全会員により、特選句8句を選ぶ。

係より、秋の吟行会のお知らせ。詳細は後日。

特選句

かろがろと岩磯伝ふ日焼の子	とも女
萍に日の沈み入る緋曼荼羅	十 九
木洩れ日の古道の壁や苔青し	真 青
名人の若き笑顔や梅雨晴間	十 九
終点は落人の里著義明かり	二 祥
チェロケース抱ふ少女は片かげり	勇 平
被写体は名も無き野草青岬	三 旦
鳥たちの天突く響き夏木立	和 女

次回の予定

令和5年7月23日(日) 午前10時～12時

「第173回例会」は、いきいきセンター晴嵐かなざわ

兼題「祭」を入れた1句、他に当季雑詠3句、合計4句。

披講 鈴木勇平会員